

年頭のご挨拶

佐呂間町長 川根 章夫

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、輝かしく希望にあふれた新春をご家族おそろいで、健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日ごろから町政全般にわたりまして、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

昨年のわが国は、長引くデフレからの脱却を確実なものにするため、継続した「アベノミクス」の効果により経済・雇用環境は改善傾向にあり、大企業や株式市場を中心に円安・株高の恩恵を受けている状況となっていますが、地方への波及効果は実感できるものではなく、未だに地方の地域経済を取り巻く環境は厳しいものがあり、こうした地方問題や過疎化と少子高齢による人口減少への

課題の取り組みとした「地方創生本部」が設置され、地域の特性に応じた支援策が強化されることとなりました。

このような状況の下、消費税は昨年4月から税率8%に引き上げられ、さらに今年10月には10%に引き上げられる予定でしたが、政府は平成29年までに先送りすることや、継続した経済政策を行うことの是非により信を問うとして、衆議院を解散し総選挙を断行した結果、政権与党が議席の過半数を上回ることとなりましたので、今後は原子力発電所再稼働と再生エネルギー・TPP・外交領土問題など山積している国内外の重要課題に迅速に対応されることを期待しております。

こうしたなか、日本各地では多くの自然災害による甚大な被害が発生し、特に8月の広島市では記録的な

る生活を取り戻せることを願っております。

明るいニュースといたしましては、冬季ソチオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍には国内はもとより特に多数の選手を送り出している北海道民に大きな感動と希望を与えてくれました。

また、青色発光ダイオード（LED）の基礎研究から実用化で日本人3名の方々がノーベル物理学賞を受賞されたことは、これからの日本の物理学発展にも大きな期待が寄せられたところでございます。

昨年のわが町の基幹産業の農業においては、4月半ばまでの残雪により一部の作物のとき付け作業が遅れ、作況を心配しましたが、その後、大きな災害もなく、畑作で一部平年作を下回るものもありましたが、主要作物である麦類やてん菜類が良好であったことから、農作物全体としては概ね計画どおりとなったところです。また、酪農畜産においては生産資材の高止まりや電力値上げなどの影響を受けたものの、生乳生産、固体販売価格が順調であり、農協全体としての生産額では当初計画と大きな乖離がなく安堵しているところです。

漁業においては、7月の北海シマエビ漁は不良でしたが、主力の外海ほたて漁は若干歩留まりが低いものの価格が好調であり、また、養殖ほたて漁につきましても数量価格とも安定し、さらに秋さけ定置網の漁獲量も平年並みで価格が好調であったことから、漁業全般的には当初計画を上回る生産額となり、1年の苦勞が報われた結果となったところで

す。商工業関係につきましては、生産資材や燃料費の高騰といった厳しい環境の中、公共工事や民間発注事業などの関連予算を中心に各事業所も経営努力され、また、購買力の流出対策として「ふるさと商品券」などの発行利用も順調な状況であり、町内経済の一助として浸透しているところで

す。永年、本町の地域医療の中心を担っていたいた小田医院が閉院となり、昨年4月1日からは佐呂間町立診療所を開設し、医療法人恵尚会を指定管理者として「クリニックさるま」を運営し町民への医療を提供することができました。現在は、老朽化した施設に替わる新しい病院を建設し、本年10月完成、12月診療開始に向け作業を進めているところで

豪雨による土石災害、さらに9月の木曽御嶽山の噴火による火砕流・噴石により、多くの尊い命が失われるといった出来事もあり、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、一刻も早い被災地の復興と地域住民の皆さんが安心でき

あり、さらなる地域医療の充実を図ってまいります。

さて、新しく迎えました平成27年でありますが、地方自治体を取りまく環境は年々厳しさを増しております。国と地方の借金は増え続け、債務超過の状態にあることから、地方財政の先行きは依然として不透明であり、引き続き危機感を持って財政運営を行い、財政健全化を図らなければなりません。また、環太平洋連携協定（TPP）交渉の動向を注視し、関係機関と連携した対策にも取り組んでまいりたいと考えております。

今年の佐呂間町は開基121年となります。これまでの120年を礎として、医療・福祉・教育・子育て・産業振興など住民一人ひとりの生活に直結する多くの課題に取り組むとともに、第4期町総合計画のタイトルである「青い湖と緑の大地 人が輝く未来のサロマ」の実現に向け、情勢の変化に対応しながら町政運営を図ってまいれる所存であります。結びに町民の皆さまにとって平成27年が災害のない実りある年となりますよう心からご祈念を申しあげ、年頭のご挨拶といたします。

未2015

謹賀新年

佐呂間町

町長 川根 章夫
副町長 川又 則之
他職員一同

町議会

議長 加賀屋 修
副議長 佐藤 昭男
他議員・職員一同

教育委員会

委員長 中道 寛雄
教育長 香川 健一
他委員・職員一同

農業委員会

会長 佐野 敏治
他委員・職員一同

選挙管理委員会

委員長 内藤 学峰
他委員一同

監査委員

代表監査 山本 英人
委員 船木 司

遠軽地区広域組合佐呂間消防団

団長 吉野 厚志
他団員・職員一同

Town Topicks

まちの話題

バスケット「北海道新人選抜大会」 北見選抜に平川由奈さんが選ばれました!!



「北見選抜に選ばれてとてもうれしいです。一生懸命頑張って、勝ってきたいです。」と抱負を語ってくれました。また、平川さんは中学校に入ってもバスケットを続けていきたいと話してくれました。健闘を祈っています。頑張れー!!

平成27年3月に開催される、バスケットの「北海道新人選抜大会」に佐呂間小学校5年、平川由奈さんが見事選出されました。

平川さんは、今年4月に設立された佐呂間の女子ミニバスに入り、1年目。北見市、紋別市、津別町など佐呂間町も含む北見市管内の小学校4・5年生から選ばれる選考会で44人の中からの15人に選出。厳しくプレーを審査される一次選考、二次選考を勝ち残った15人にはバスケットの盛んな北見市から14人が選ばれ、北見市以外からの選出は平川さんただ1人!

佐呂間からの代表として自信を持って、気負うことなくおもいきりプレーをして来てほしいと思います!

仁倉地区で防災訓練を実施しました



「防災・安心メールさろま」このQRコードを携帯電話・スマートフォンやQRコードリーダーやQRコードを読み込む専用アプリで読み込むと、簡単に登録画面へアクセスできます。

11月18日に、仁倉地区で水害を想定した防災訓練を実施しました。訓練は、地区住民44名の皆さんの参加のもと、仁倉私設消防団のサイレン吹鳴や「防災・安心メールさろま」を利用した、避難勧告の伝達訓練などを実施しました。

近年は、各地で自然災害などによる被害が発生しています。日ごろから、避難場所、避難経路、防災用品の備えなどの確認を十分行うようにしてください。

最後に、ご協力いただきました、仁倉自治会の皆さんにお礼を申し上げますとともに、町民の皆さんも、この機会に今一度、災害への備えについて、地域やご家庭で話し合いを行っていただきますようお願いいたします。

セーフティーロード☆サロマ Traffic Safety

[交通安全]



デイルイト運動実施中!!
あなたも参加しませんか?!

▼交通死亡事故ゼロ運動
510日(12/15現在)

▼交通事故発生状況
(平成26年11月末現在)
発生 7件(+1件)
死亡 0人(-1人)
傷者 15人(+9人)
(-)内は前年比
発生件数は人身事故の件数

▼STOP ザ 交通事故
まだ行ける
自分の心に
ストップを
佐呂間中学校3年
安藤 健斗

町民の皆さまにおかれましては、ご健勝にて輝かしい平成27年の新春を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国的に局地的集中豪雨による家屋の浸水や土砂崩れが発生し、特に、広島市の土砂災害では多くの人命が失われました。

また、長野県と岐阜県の県境にまたがる御嶽山が噴火し、多くの登山客が犠牲となるなど過去最大級や戦後最大と称される災害が発生し、犠牲者のご冥福をお祈りするとともに、早期の復興を願っております。

地方情勢に目をむけると、民間の研究機関「日本創生会議」が2040年までに全国市町村の約50%が20〜39歳の女性が半減する「消滅可能性都市」との調査結果を発表し、多くの自治体に衝撃を与えたところです。

一方、国政においては、「地方創生」などを掲げ、地方の人口減少対策を

最重要課題とした、第二次安倍改造内閣が9月に発足しました。

TPP交渉は、依然として先が見えない中、オーストラリアとの経済連携協定においては、牛肉関税の段階的引き下げに大筋合意をするなど酪農、畜産業に与える影響は、はかり知れないものがあると懸念しております。

こうした中、安倍首相は、景気動向が好転しないことから消費税率10%引き上げを平成29年4月へ引き延ばすことを表明し、消費税増税先送りと経済対策の継続などを争点とした『アベノミクス選挙』が実施されました。

さて、本町をかえりみますと、幸いにも大きな災害もなく安堵しているところですが、基幹産業の農業では2月・3月の大雪、4月の低温による雪解けの遅れ、5月の低気圧やその後の干ばつなどの影響で農産物において若干の販売額減少が見込まれています。しかし、酪農畜産にお

いて乳価の引き上げ、畜産物の個体販売が順調に推移したことから全体では、計画とおおむね同等となる見込みであります。

水産業は、北海シマエビ漁が不漁となりましたが、ホタテなどの価格に恵まれ、計画を上回る見込みとなっております。

商業では、地域経済、雇用環境は依然として厳しい状況になっていますが、商工業活性化事業、住宅改修費の助成や商品券発行などの各種施策により、活性化が図られております。

いずれにしろ、厳しい社会経済情勢の中、全体的に概ね計画が達成されたことは喜ばしい限りです。

懸案であった地域医療の維持につ

きましては、医療法人恵尚会による、町立診療所が開設となりましたが、今後とも安定した運営が望まれております。

地方を取りまく環境は大きく変化しつつある中で、基幹産業の活性化対策、人口減少対策、少子高齢化社会に対応する医療・福祉施策などの充実が求められております。

このような状況の中、議会としても地域住民自らの判断と責任において、地域の諸課題に取り組んでいくよう、的確かつ適正な議会活動に全力を傾注し、その任を果たしてまいりたいと存じます。

今年も、町民の皆さまがご健勝で幸多い年になりますことをご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

佐呂間町議会議長 加賀屋 修



未2015